

企業名： 山陽特殊製鋼

レポート名： 山陽特殊製鋼レポート 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

この報告書から、山陽特殊製鋼は経営理念である「信頼の経営」を通じて、持続可能な社会の実現を目指していると分かる。その実現に向けて、山陽特殊製鋼は 2050 のカーボンニュートラルを目指す方針を掲げており、なかでも当社グループの完全子会社である欧州の Ovako は 2022 年 1 月にカーボンオフセットプログラムを活用したカーボンニュートラル体制に移行した。

また環境・社会・内部統制に関する重要な課題と取り組みを公表しており、ステークホルダーとの信頼の維持を狙っており、企業理念の実現を常に心がけている。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

山陽特殊製鋼の競争優位性は、世界中の特殊鋼ニーズに対応するグローバルなネットワークを持っていることにある。山陽特殊製鋼グループは日本、欧州、インドに特殊鋼の一貫製造拠点を持っているため、グローバルに事業を展開する取引先の現地調達ニーズに対応することができる。

さらに欧州の子会社である Ovako は前述のカーボンニュートラルの実現により、欧州特殊鋼マーケットにおける優位性が高まっている。山陽特殊製鋼、Ovako、そして山陽特殊製鋼の親会社である日本製鉄の 3 社による営業・生産・調達などの面でのシナジーが見られればグループ全体のさらなる競争力強化につながる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

経営計画に示されているように、山陽特殊製鋼は「素形材事業」と「粉末事業」の収益力強化を目指しており、新たな時代の波にもついていけるような戦略を立てている。

また技術先進性のさらなる拡大、カーボンニュートラルの実現、ガバナンス体制の強化によりますます企業としての信頼度が向上し、企業体質をさらに盤石にできると思う。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

山陽特殊製鋼は人材育成を「人を育て、人を活かす」を基本方針に解決すべき課題を自ら設定し解決する能力のような主体性とチャレンジ精神をもつ「自律考動型」の人材の育成を掲げている。体系的な研修や教育制度がこれをサポートするため、人生のあらゆる場面で役に立つ能動的なスキルを身につけることができる。またグローバル人材の育成にも力を入れており、海外語学研修や短期語学留学、海外グループとの国際交流などを通して多角的な視

点を持った社員の育成を目指している。そのためこの会社ではグローバルな視野を持ちつつ、自ら困難に立ち向かえる人間になれる。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

この会社が特に力を入れている持続可能な社会への貢献、そしてカーボンニュートラルの実現というところに多くの分量が割かれていて、詳しい実情などを知ることができる点は良い。一方、様々なところで日々変わる状況に対処しながら企業としての存在を高めていく旨の記述があったが、少子高齢化などの現在の日本の課題への対策が述べられていなかったのがざんねんであった。